

OAK WIND



Oak Wind Symphony
第34回定期演奏会

2018/1/7 sun

南公会堂

後援：横浜市文化観光局



第23回東関東吹奏楽コンクール (2017.9.17 ひたちなか市文化会館) 写真:(株)フォトライフ

ごあいさつ

Oak Wind Symphony 団長 竹内 連

本日はお忙しい中、私どもの演奏会にお越しいただき、誠にありがとうございます。

私ども Oak Wind Symphony は、前身である柏陽高校吹奏楽部OBバンドでの約18年の活動後、2000年8月に一般バンドとして誕生して18年目を迎えました。年2回の定期演奏会、および吹奏楽コンクールへの出場を活動の柱としています。昨年は8月の吹奏楽コンクール神奈川県大会において金賞を受賞し、神奈川県代表として通算9回目となる東関東大会出場を果たしました。ここ横浜の地でこのように長く安定的に活動できますのも、ひとえに皆様の温かいご支援の賜物と団員一同心より感謝申し上げます。

本日の演奏会は全3部構成となっております。第1部は吹奏楽曲ステージ、第2部では約1年半ぶりとなるビッグバンドステージをお送りします。吹奏楽団の演奏会としては珍しいステージですが、創団当初から続く伝統ある取り組みです。第3部のポップスステージのテーマは『タイムトラベル』。皆様も当団の団員と一緒にさまざまな年代を巡りましょう。そこには数多くのユニークなキャラクターと音楽が待ち受けているようです。どうぞお楽しみに。

最後になりましたが、日頃より熱心にご指導いただいている榮村正吾先生と、本日の演奏会に後援いただいている横浜市文化観光局、そしてご来場の皆様に厚く御礼申し上げます。



常任指揮者

榮村 正 吾

1991年東京芸術大学音楽学部器楽科卒業。

在学中に安宅賞受賞、東京文化会館新人音楽会に出演。シエナ・ウインド・オーケストラのサクソフォーン奏者として1年間活躍。卒業後アサヒビール芸術文化財団の助成金を受け渡仏。フランス国立セルジー・ポントワース音楽院高等科に入学。1992年、パリ国際コンクール第2位受賞。同年同音楽院を首席で卒業、1993年、レオポルド・ベラン・コンクールにおいて第1位および大賞受賞。同年同音楽院演奏科を修了。

フランスをはじめ、ベルギー、イタリア、デンマーク等ヨーロッパ各国において演奏会、音楽祭に出演、好評を博す。帰国後東京文化会館において第1回リサイタルを開催。NHK-FM土曜リサイタルに出演。第10回ワールドサクソフォーンコンgres(イタリア)、同第11回(スペイン)にそれぞれ参加。

サクソフォーンを佐藤典夫、大室勇一、富岡和男、須川展也、ジャン＝イブ・フルモーの各氏に師事。

現在、シエナ・ウインド・オーケストラ サクソフォーン奏者、昭和音楽大学講師など幅広く、精力的に活動している。

第 1 部

音楽祭のプレリュード

アルフレッド・リード

稲穂の波

福島 弘和

サガ・キャンディダー ー魔女狩りの7つの印象ー

ベルト・アッペルモント

第 2 部

BIG BAND STAGE

Take the "A" Train

Billy Strayhorn

GRACE

Quincy Jones / Sammy Nestico

Orange Sherbet

Count Basie / Sammy Nestico

Got To Be Real

David Foster / Cheryl Lynn / David Paich

第 3 部

スーパーマリオブラザーズ

近藤 浩治／arr. 星出 尚志

東京ブギウギ

服部 良一／arr. 遠藤 幸夫

モーツァルト・ポップス・シンフォニー

W.A.モーツァルト／arr. 佐橋 俊彦

ジャパニーズ・グラフィティ XIX
(ザ・ドリフターズメドレー)

arr. 星出 尚志

司会 ニシハラフミコ



■プロフィール

ニシハラフミコ

役者。企画ユニット「いちごドロップ」のひとり。芝居の世界の片隅にひっそりと生息し続けている。各種演奏会の司会として、年に数回マイクを握る。演奏に合わせて朗読をすることもある。2018年は、1月末と2月後半に出演予定の公演あり。以降は未定のため、随時ご依頼受付中。

★お問い合わせ

<http://ur0.link/ALLR>
15xdrop@gmail.com

【出演情報】

KUROGOKU

「俳優名鑑 vol.4」

脚本・演出 西山雅之 (GORE GORE GIRLS)

2018年1月25日(木)～28日(日)

新生館スタジオ

前売・当日ともに1,500円。

*以下にて絶賛ご予約受付中。

<https://ws.formzu.net/fgen/S47446607/>

*最新情報はツイッターにて

@kurogoku_hompo



第 1 部

音楽祭のプレリュード

アルフレッド・リード

第1部1曲目にお送りする「音楽祭のプレリュード」は、1957年に作曲されました。日本では1970年に全日本吹奏楽コンクールの課題曲となり、この曲がリード人気のきっかけとなったと言っても過言ではありません。冒頭の金管楽器の華やかなファンファーレ、中間部の木管楽器による美しくも切なさを感じさせるようなメロディー、そして盛り上がりは最高潮を迎え、曲は幕を閉じます。5分という短い曲ですが、これぞリード!といった要素がたくさん詰まっています。リードならではの各楽器の見せ場にぜひ注目してお聴きください。

(Horn／高橋志帆)

サブタイトルに「魔女狩りの7つの印象(- 7 Impressions of a Witch Hunt -)」とある通り、7つの印象的な音楽が次々に展開していく組曲形式となっており、まるで映画を観ているかのように切れ目なく演奏されます。

1. Opening オープニング
2. Accusations 告発
3. Innocence(Love) 純潔・愛
4. Tango タンゴ
5. Sabbath サバト
6. Death 死
7. Transformation(Finale) 転生(フィナーレ)

稲穂の波

福島弘和

この作品は、1998年度全日本吹奏楽コンクールの課題曲として採り上げられ、日本中で広く演奏されました。翌年以降も繰り返し演奏され、今では人気作曲家となった福島弘和氏の出世作となりました。

この作品について、福島氏は次のように述べています。

「当時、私の通っていた高校は、360° 水田に囲まれていて、四季を通じて移り替わる風景の中にありました。そんな思い出の風景を基に作曲してみました。」

夏には青々とした姿で背筋を伸ばし、秋には黄金色に染まり頭を垂れる稲穂が風になびいている…

四季折々で見せる稲穂の姿を波になぞらえて、ある時はやさしく、またある時は激しく描いています。

実際に、そういった田園風景で育った人はもちろんのこと、都会で生まれ育った人でさえも、なぜか懐かしさを感じるような心象風景、それは言ってみれば、日本人が心に抱く原風景なのかもしれません。

(Percussion／志水栄雄)

ミュージカル「サタンの種」あらすじ

物語の舞台は1600年代の中世ヨーロッパ。ある村に、エリザベスとその娘カテリーネが住んでいました。エリザベスは聡明で美しく、薬を調合して村人たちの病気や怪我を治すなど、困っている村人たちを助けるたびに感謝されていました。しかし一方で彼女に嫉妬する者も少なくなく、やがて、彼女が魔法を使える魔女で、悪魔の子を妊娠し、村の子供が死んだのもエリザベスのせいではないかという根も葉もない噂が広まります。エリザベスに嫉妬する村人たちによって、「エリザベスは魔女だ」「火あぶりにしろ」という声が上がりはじめます。娘カテリーネの恋人トーマスに横恋慕するアンネもその一人でした。

エリザベスへの魔女嫌疑により、娘カテリーネの恋人トーマスは結婚をためらい、若い二人の愛は引き裂かれます。アンネに心変わりしたトーマスに対して、母エリザベスは怒りのあまり「お前を魔法でヒキガエルにしてやる」と口走ってしまいます。

村人たちの疑いが確信に変わり、魔女だと告発されて広場に引きずり出された母エリザベスを救うため、娘カテリーネは自分こそが魔女であると嘘の告白をします。拷問や魔女裁判の結果、母エリザベスやトーマスの弁護も空しく、娘カテリーネは火あぶりの刑に処されることとなります。今度は娘を救うため、エリザベスが身代わりとなってこっそり入れ替わり、娘カテリーネとトーマスの逃亡を手助けします。母エリザベスは娘の幸せを願い、村人たちが見届けるなか火にかけられて処刑されるのでした。

曲名にある「キャンディダ(Candida)」とは、ラテン語で「輝かしい」「白い」「公正な」「美しい」という意味です。本来は罰せられるべきではない清廉潔白な女性が、周囲の嫉妬や狂気によって裁かれていきます。「私を憐れんでください、神よ あなたの慈しみをもって」という祈りのような歌声がどこからともなく聞こえてくるようです。原作のミュージカルでは処刑の場面までですが、この曲では、まるで神の光によって救われるように転生を遂げる場面が付け加えられています。

5曲目のサバト(Sabbath)とは、魔女たちが集まる夜宴・夜会のことです。中世ヨーロッパでは土曜の夜に悪魔崇拝の集会が行われていると信じられていました。サバトに参加したという罪で告発されて魔女裁判にかけられた人々も多かったそうです。

クラシック音楽好きな方は、ベルリオーズ作曲の幻想交響曲Op.14第5楽章「サバトの夜の夢」をご存じの方もいらっしゃるでしょう。アップエルモントによるサバトも、ソロ楽器によって魅惑的なメロディが奏でられ、次第に狂乱の渦に巻き込まれていきます。魔女たちの妖しげな宴が繰り広げられるイメージは、3曲目の清らかで純粋な愛のメロディとは非常に対照的だと言えるでしょう。

アップエルモントは他にも「ノアの箱船」、交響曲第1番「ギルガメシュ」など、物語を題材にした吹奏楽曲を多く作曲しています。この作品でも、ミュージカルよりも短い時間に短縮されていますが、多彩で変化に富んだドラマティックな曲となっています。

おとぎ話のようなオープニング、村人たちのヒステリーのような魔女告発、若い男女の純粋な切ない愛、妖しげな魔女の世界、死と転生。ストーリーや場面を想像しながらどうぞお聴きください。

(B♭ Clarinet／志水玲子)

サガ・キャンディダ -魔女狩りの7つの印象-

ベルト・アップエルモント

この曲の主人公は「魔女」です。魔女はおとぎ話から現代アニメまでよく登場するモチーフで、日本には愛される魔女のキャラクターが沢山います。皆さんが思い浮かべるのはどんな魔女でしょうか。白雪姫などのおとぎ話に出てくる悪い魔女よりも、魔法使いサリーや魔女っ子メグちゃん、魔女の宅急便、最近では魔法少女まどか☆マギカ、等々のアニメの人気キャラクターを思い浮かべる方も多いかもかもしれません。魔法を使う少女や女性はファンタジーの世界には欠かせない要素かもしれません。

一方、現実の世界で過去を振り返ってみると、中世ヨーロッパでは魔女狩りや魔女裁判による激しい迫害が行なわれていました。当時、魔女は悪魔と交わり超自然的な力で禍(わざわい)をもたらす存在だと信じられていました。異端であることや特殊な能力を持つことを理由に魔女とみなされ、民衆に告発された結果、拷問や処刑によって命を落とした女性が多数存在すると言われています。

アップエルモントによるこの作品は、皆に愛された魔女ではなく、「魔女にされてしまった女性」の哀しい物語です。

2002年にベルギーで、吹奏楽によるミュージカル「サタンの種(Seed of Satan)」という作品が上演されました。この音楽担当だったのがベルト・アップエルモントです。好評を博した「サタンの種」の音楽の中から作曲者であるアップエルモント自身が再構成したものが、本日演奏するサガ・キャンディダです。



Take the “A” Train

ビリー＝ストレイホーンがデューク＝エリントン楽団のために作曲したこの曲は、ジャズのスタンダードナンバーとして愛されてきました。日本では電車の路線名を駅名や地名で表現しますが、この曲でいう「A” Train」は、ニューヨークの地下鉄A線（別名「8番街急行」）のこと。題名とこの曲に付けられた歌詞には「ジャズの楽しめるハーレムに行くには、早く行けるA線に乗りなさい」という意味が込められています。

GRACE

カウント＝ベイシー楽団の花形アレンジャーだったクインシー＝ジョーンズとサミー＝ネスティコの手による「Basie & Beyond」に収録。クインシー＝ジョーンズによって書かれたこの曲は、1995年にリリースされた「Q'S JOOK JOINT」では、「At The End of The Day」の名前でハーモニカをフィーチャーして収録されています。今回はソプラノサックスをフィーチャーしてお送りします。

Orange Sherbet

デューク＝エリントン、グレン＝ミラーと並ぶビッグバンド界の重鎮、カウント＝ベイシーのアルバム「Basie Big Band」に収録。36年のバンド結成からベイシーが亡くなる直前まで半世紀にわたって世界中を回って演奏され続けたベイシー楽団は、「世界中で最もスウィングするバンド」と評され日本でも多くのビッグバンドがベイシー楽団の演奏をお手本にしています。ベイシーらしいシンプルなピアノソロで静かに始まり、ラストに向けて静かに盛り上げていくのがサミー＝ネスティコの真骨頂。半世紀を経ても色あせないビッグバンドの王道サウンドをお楽しみください。

Got To Be Real

抜群の声量と5オクターブの音域をもつソウルミュージック界の歌姫、シェリル＝リンのデビュー曲にして最大のヒット作。78年にリリースされたこの曲は、当時のディスコブームにも乗って空前の大ヒットを飛ばし、ビルボード誌R&Bチャート1位を獲得。今でもダンス・クラシックの金字塔として親しまれています。本日お届けするのは、ラテンジャズのスペシャリスト集団熱帯JAZZ楽団によるアレンジ版。原曲を活かしつつも随所にラテンのリズムをちりばめ、カバーを単なるカバーでは終わらせない熱帯流アレンジをお楽しみください。

MEMBERS

Saxophone

小野 剛司 (Alto Saxophone)
井上 宏美 (Alto Saxophone)
櫻井 秋来 (Alto Saxophone)
長島 央和 (Alto Saxophone)
西野 笑弥 (Tenor Saxophone)
堀下 美樹 (Tenor Saxophone)
河合 由葵 (Baritone Saxophone)

Trumpet

阿部 泰子 (Trumpet)
木村 正宏 (Trumpet)
上妻 知世 (Trumpet)
貞松 正樹 (Trumpet)
佐藤 容子 (Trumpet)
藤田 哲朗 (Trumpet)

Trombone

草薨 真彩 (Tenor Trombone)
高瀬 良介 (Tenor Trombone)
檜垣 美春 (Tenor Trombone)
森重 雄太 (Bass Trombone)

Rhythm

高橋 志帆 (Piano)
加藤 結香 (Percussion)
貞松 真紗子 (Percussion)
志水 栄雄 (Percussion)
田中 祐一 (Percussion)
池見 浩 (Drums)
松浦 清人 (Bass)

MC

ニシハラフミコ

(Trumpet／木村正宏)

スーパーマリオブラザーズ

近藤 浩治／arr. 星出 尚志

『スーパーマリオブラザーズ』は、昭和60年に販売されたファミコン用のゲームソフトのお話です。

主人公のマリオがクッパにさらわれたピーチ姫を助けに行くといったストーリーで、クリボー、ノコノコといった可愛い敵キャラ達も数多く存在し、その後のマリオシリーズにも登場しています。

マリオがジャンプしてコインをゲットしたり、スーパースターを手に入れ一時的に無敵状態で敵を倒していく様はとても爽快です。

今回はそんなマリオのゲーム音楽を吹奏楽アレンジで演奏します。マリオの前に立ちはだかる敵達。

はたして無事ピーチ姫を救えるのか!?

(Alto Saxophone／長島央和)

東京ブギウギ

服部 良一／arr. 遠藤 幸夫

昭和22年一戦争に負け、焼け野原となった日本。色の失われた街に、この唄は鮮やかに流れ出しました。

♪と、お、きょ、ブギウギ リズムウキウキ 心ズキズキワクワク♪

戦争中、ジャズは「敵性音楽」。音楽や映画もお国のため、絵画や文学もお国のため。真面目にひたむきに、日本人は頑張ってきました。

でも、負けました。多くの人が、親兄弟や友人を亡くしました。戦場から心と身体が傷ついた兵士たちが、外地からも命からがら民間人が、引き揚げてきました。

何もなくなった街。人を傷つけ、自らも傷付いた兵士たち。親や子、兄弟を亡くした家族が肩を寄せ合うバラック。そんな中、焼け残ったラジオからこの唄は鮮烈に流れました。

アメリカ生まれのブギウギのリズムに乗せ、あまり意味はなくとも力強い歌詞が並びます。

戦時中はその華麗なパフォーマンスを軍に咎められ、マイクの周りを離れず歌うよう命じられたとも言われる笠置シズ子。

舞台狭しと踊りまくる彼女のエネルギー、そして力強い歌声に、人々は戦争の終わりと、自由と平和の訪れを実感し、焼け跡から立ち上がったのです。

今聞いても全く古さを感じないこの曲。戦後生まれの私達が、70年の月日を越えて、エネルギーギッシュにお届けします。そう、日本に再び元気がみなぎることを夢見て。

♪世紀のうた、心のうたー東京ブギウギ♪ ハイ!

(Alto Clarinet／河村俊志)

モーツァルト・ポップス・シンフォニー

W.A.モーツァルト／arr. 佐橋 俊彦

下書きをしない天才と呼ばれていたモーツァルト。誰でも一度は聞いたことのある名前ではないでしょうか。モーツァルトは古典派音楽の代表的な存在で、器楽曲、声楽曲を合わせ900曲以上の曲を残したと言われています。

この曲は1985年に公開した映画「アマデウス」の冒頭シーンやフジテレビ系列「アウトデラックス」のBGMとしても使われている交響曲第25番、三大交響曲と言われているうちの第40番と第41番の3曲をメドレーにしたものとなっています。

今回は有名な交響曲をポップス風にアレンジした吹奏楽でお送り致します。クラシックとポップスが合わさった不思議な世界観をお楽しみ下さい。

(Percussion／田中晴菜)

ジャパニーズ・グラフィティ XIX

arr. 星出 尚志

「8時だよ! 全員集合」世代のあなた!

ドリフを知らない世代のあなたも!

今日はお茶の間で一躍人気者となった あのザ・ドリフスターズが復活!?

ドリフの中から、「チョットだけヨ! 全員集合」、「ドリフの早口ことば」、「ドリフのズンドコ節」、「ほんとにほんとにご苦労さん」、「盆周り」、「ヒゲのテーマ」、「志村けんの全員集合 東村山音頭」、「いい湯だな」の8曲をお送りいたします。

早口言葉にヒゲダンス…楽器で作り出すドリフの世界観、そしてどんな世代も笑いに誘う名曲の数々をOakオリジナル演出と共に お楽しみ下さい!!!

(Oboe／池田茉莉)





Oak団員座談会



本番直前、団員の方々に自由に語っていただきました…

いつも冬は12月開催ですけど
今年は1月になりましたね。12月はホール抽選の倍率が高くて
なかなか当たらず。演奏会を
開けるのか毎回ドキドキちゃう。南公会堂、一昨年にリニューアル
されただけあって綺麗ですよ。
まだ新築の匂いして。でも舞台がそんなに広くないから
配置に困った。うまく収めるには頭
使うんだよね。しかも第3部では、演奏以外にも
「アレ」やるんでしょう？みんな張り切って準備や練習してたね。
お客様に楽しんでもらえたら嬉しいな。ポップスステージのテーマは
「タイムトラベル」でしたっけ？だから、チラシのデザインも
レトロ風なんだよ。懐かしい。マリオは子供の頃ファミコンで
散々やりましたよ！最近入団した18歳の
子たちは知ってるのかな。僕は断然ドリフだな。歌詞もほとんど
わかるし。「い・い・ゆ・だ・な〜」ドリフの歌とか踊りとか、40代、50代
団員の目の輝きが違う気がする。懐かしいと言えば、第1部の「稲穂の波」も。
1998年の吹奏楽コンクールの課題曲で吹
きましたね。あの時もうちのパート苦労し
ましたよね？

私、その時まだいないから。

え、いませんでしたっけ!? あ、まだ柏陽
高校吹奏楽部OBバンドだった時代だ。そう、Oakになったのが2000年。
当時を知る古参メンバーも10人
くらいになったね。榮村先生の指揮もその98年の
コンクールからだから長いなあ。
もうすぐ20年経つね。そういえば、榮村先生、リサイタルやる
ことになったんですよ。10年ぶりくらい？これまでもOakの演奏会でコンチェルト
でソロを吹いてくれたことはあったけど、
単独リサイタルはほとんどやらなかった
からね。メイン曲は「展覧会の絵」なんだ。
しかも上大岡なら近いし。メインはソプラノからバリトンまで4種類の
サクソを持ち替えて吹くんだとか。
これは聴きにいかなくちゃ。その前に、まずは自分たちが皆様に
楽しんでいただける演奏をお聴か
せしないとね！

Oak Wind Symphony Twitterはじめました！

団公式Twitterアカウントの運用を開始しました。

演奏会のお知らせや日常の出来
事などをご紹介します。
ぜひフォローしてくださいね！

@oak_wind



《 団員募集について 》

Oak Wind Symphony では一緒に演奏を楽しむ仲間を募集しています
(募集状況はホームページでご確認ください)

- ◎ 募集条件
高校生以下不可(高校卒業見込の3月から可)
基本的に、ご自身で楽器を用意できる方(打楽器以外)
初心者の方は当団側で受入態勢を整えられない場合があります
- ◎ 練習日 : 原則毎週土曜日夕方(本番前は追加練習あり)
- ◎ 練習場所 : 横浜市内南区を中心とした公共施設
- ◎ 連絡先 : meet-oak@oakwindsymphony.sakura.ne.jp

Oak Wind Symphony 第35回定期演奏会



日時: 2018年6月3日(日)

場所: 鎌倉芸術館 大ホール

♪ 宇宙の音楽 〈P.スパーク〉

♪ 翠風の光 〈長生淳〉

ほか

詳細が決まりましたらホームページ等でお知らせします

<http://oak-wind.sakura.ne.jp/oak/>

さかえむら しょうご

榮村正吾サクソフォンリサイタル

Shogo Sakaemura Saxophone Recital

2018年 3月4日(日)

14:00開場

14:30開演

港南区民文化センター
ひまわりの郷ホール

京急線または市営地下鉄

「上大岡」駅下車 ウィング上大岡うえ(4F)

全席自由

一般・学生共通 3,000円

<チケットお申込み受付>

チケットぴあ Tel:0570-02-9999
(Pコード 103-343)

ドルチェ楽器 Tel:03-5909-1771

<チケットぴあ>



<曲目等は挟み込みされたチラシをご覧ください>



写真：(株)フォトライフ

Oak Wind Symphony

☆： 団内指揮者 ♪： パートリーダー

Conductor

榮 村 正 吾

Flute & Piccolo

♪ 荒 井 みちえ
石 塚 琳 子
大 熊 真悠子
小 林 みなほ

Oboe

& English Horn

池 田 茉 莉
大 植 めぐみ
♪ 松 林 雄 一

Bassoon

石 井 優 衣
望 月 智 文

E♭ Clarinet

♪ 広 島 愛 子

B♭ Clarinet

石 井 敬 子
岩 下 直 紀
志 水 玲 子
須 江 麻 未
高 島 百 合
竹 内 連 野
鳴 川 みずき
肥 野 匠 真
松 林 祥 代
松 宮 千 恵

Alto Clarinet

河 村 俊 志

Bass Clarinet

清 水 育 子

Soprano

& Alto Saxophone

池 田 彩 紀
井 上 宏 美
☆ ♪ 小 野 剛 司
櫻 井 秋 来
関 島 香 子
長 央 和

Tenor Saxophone

西 野 笑 弥
堀 下 美 樹

Baritone

Saxophone

河 合 由 葵

Horn

石 川 夏 織
☆ ♪ 高 橋 研 介
高 橋 志 帆
田 中 美 紗 樹

Trumpet・Cornet

& Flugelhorn

阿 部 泰 子
木 村 正 愛
♪ 上 妻 知 宏
佐 々 木 結 世
貞 松 正 衣
佐 藤 容 樹
鳴 川 智 子
藤 田 哲 朗

Trombone

草 薊 真 彩
高 渕 良 介
♪ 鈴 木 彩 織
戸 井 真 智
檜 垣 真 春

Bass Trombone

石 毛 遥
森 重 雄 太

Euphonium

川 口 莉 奈
♪ 松 谷 俊 介

Tuba

五十嵐 史 生
伊 藤 優 里
森 田 遼 太

String Bass

松 浦 清 人

Percussion

池 見 浩
加 藤 結 香
☆ ♪ 貞 松 真 紗
志 水 栄 子
田 中 晴 雄
田 中 祐 菜 一

Piano

渡 辺 麻 里